

新しい公共支援事業の成果等報告
(新しい公共の場づくりのためのモデル事業分)

1 成果等報告

モデル事業名	相談や地域のたすけあい機能を持つコミュニティカフェ事業
分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般枠 <input type="checkbox"/> NPO支援重点化枠 <input type="checkbox"/> 震災支援枠 (該当するものにチェック)
事業実施主体 ・ 名	国立市 ワーカーズ・まちの縁がわ国立
実施期間	2012(平成24)年1月 ~ 2013(平成25)年3月
支援額 (注釈参照)	※ 支援額は総額及びその内訳を記載してください。 8,760,000円 人件費 4,391,950円 施設等の整備費 3,766,335円 諸謝金 378,000円 委託費 113,400円 印刷製本費 67,435円 設備備品購入費 42,880円
マルチステークホルダー (会議体)の 取組状況	(1) ワーカーズまちの縁がわ国立 本事業の中心体。「事業の具体的内容」を実施した。 (2) 国立市健康福祉部福祉総務課 本事業について、東京都から東京都新しい公共支援事業新しい公共の場づくりのためのモデル事業助成金を受け、国立市新しい公共の場づくりのためのモデル事業補助金交付要綱(平成24年国立市訓令第15号)に基づき、(1)に対して補助金を交付し、事業が周知されるよう「市報くにたち」に広報するなど協働していった。 (3) NPO法人アビリティクラブたすけあい 東京の本部として、事業に必要な研修を計画・実施し、ワーカーズのスキルアップを図りながら、相談・助言を行い円滑な事業運営をサポートした。 (4) NPO法人アビリティクラブたすけあい くにたち すてつき カフェ事業所と同じ建物の1階に事務所を開設しているので日常的に交流し、公的制度に限界のある部分に対応できるケアの情報提供を行った。 (5) ワーカーズコレクティブ とまと カフェは軽食しか提供できないが、とまとでは高齢者に必要なバランスのとれた自然食の弁当を作っているため、カフェにおいて定期的に昼食会を実施したり、昼定食を提供し、利用者の食生活の改善に貢献した。

	<p>(6) 健康体操ワーカーズKENTA カフェで定期的に短時間の健康体操を指導したり、サークルを作ったりすることを検討した。カフェを健康体操グループの方々の散歩先としても紹介した。</p>
<p>事業概要</p>	<p>※ 事業の概要が分かるように、100～150字程度で簡潔にまとめて記載してください。</p> <p>地域の居場所となるコミュニティカフェ「かふえカサムシカ」を開設し、週6日（月～土）9時30分から16時30分の間、ワーカーズ2名を常時配置し、安心・安全な食材を使った飲み物、菓子類、軽食等を提供しつつ、まちの相談パートナー事業、たすけあい事業等を実施した。</p>
<p>事業内容</p>	<p>※ 事業内容、実施事項、実施方法、実施の分担（直接、委託、助成を含めて）等について記載してください。</p> <p>※ 委託・助成した団体等がある場合、当該団体名等について記載してください。</p> <p>(1) コミュニティカフェ事業</p> <ol style="list-style-type: none"> ① カフェを会場に「サロンコンサート」を定期的に開催し、地域の人々の出会いと交流の場とした。 ② 「みんなで作って食べる」を目的にした料理教室を定期的に開催し、食生活への関心を高めて健康な生活を送ってもらえるようにした。 ③ 時間外・日曜日は地域の方への貸しスペースとした。 ④ 店内で利用者有志の手芸品の展示、販売なども行った。 ⑤ 別会場で、利用者と市民を対象にした「まちづくり交流会」を行った。 <p>(2) まちの相談パートナー事業</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 看護師、介護ヘルパー、保育士などの仕事の経験者を中心に、NPO法人アビリティクラブたすけあい（ACT）が主催する研修セミナーを受講して、まちの相談パートナーとしての知識を高め、サポートに当たった。 ② カフェ内での話し相手や気軽な相談には、ワーカーズ全員が対応し、相談内容に応じた専門家やアドバイザーを紹介したり、情報提供等を行った。 <p>(3) たすけあい事業</p> <p>日々の暮らしの中で、ちょっとしたお困りごとを来訪者同士で助け合って解決する仕組みを作り、ワーカーズがコーディネートして利用を進めた。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 地域の人々のさまざまなニーズに応じて、公的制度やACTの自立援助サービスで対応出来ないちょっとしたサービスをする。 （例） 電球の取替え・部屋の掃除・買い物・ゴミだし・犬の散歩・見守り・託児・庭木の手入れ・留守時の花の水遣りや郵便受けの整理など。 ② ワーカーズのほか、登録したカフェ会員（登録料1000円 / 年）を内容に応じて派遣する。託児や見守りの場にカフェの利用も可とした。 ③ 利用料は30分単位で、500円とした。

得られた成果 及び自己評価	<p>※支援の成果、波及効果、今後の展望等のアウトカム等の事業の総評を記載する。(500字以内)</p> <p>目標に達しなかったとは言え、事業期間中に延べ約2,500名の来訪者を向かえ、今後に繋がるさまざまな経験や学習をすることが出来た。</p> <p>事業を進める中で、地域の信頼を得ていくことが重要であるが、温かい声をかけてくださることが多く、今後ともその信頼に応えて行きたい。</p> <p>最初の期間はどちらかというと新しい物好きな元気な来訪者が多かったが、最近は地域の一人暮らしの方や小さい子ども連れの若い母親仲間が定期的に来て下さることも増えて、本来の目的に近づいてきている。</p> <p>人が集まることがどれほど人を元気にするか、人間関係がいかに人を柔軟に変えていくかを実感しながらの事業が出来たことは大きな成果であると考えます。しかし、何といたっても来訪者が少なくは、何もできない。この時期に支援を得たことで、市内全域にチラシの配布が行えたり、サロンコンサートや料理教室など人気のイベントが実施でき、カフェの周知を進めることができたことは有り難かった。</p> <p>たくさんの団体や個人の見学者が訪れ、コミュニティカフェの先行事例として見ていただけたことは、今後の波及効果となることと期待している。</p> <p>地域の高齢化は今後も進み、この事業はますます必要とされるようになると思われる。市内のあちこちに、歩いて行ける範囲の居場所ができる日を目指して、そのモデルとなるような事業をこれからも展開していきたい。</p>
評価ラ ンク	<p><input type="checkbox"/>S：特に優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/>A：優れた成果が得られた <input type="checkbox"/>B：一定の成果が得られた <input type="checkbox"/>C：限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/>D：成果が得られなかった</p> <p>(該当する評価にレを付けてください。)</p>

(注) 当該支援額により取得し、又は効用の増加した価格が50万円以上の機械及び器具等がある場合、別葉にて、機械等の名称、価格、管理者及び耐用年数等を明記すること。

2 添付書類

自己評価シート